

## 山縣記念財団からのお知らせ

当財団は、1940年（昭和15年）6月3日、辰馬汽船（のちに新日本汽船、山下新日本汽船、ナビックス・ラインそして商船三井となる）の社長であった山縣勝見によって、「財団法人 辰馬海事記念財団」として設立されました。その後呼称変更により、辰馬海事文化研究所、海事文化研究所そして1964年（昭和39年）「山縣記念財団」となりました。そして、「新公益法人制度改革」の施策の中で、2012年（平成24年）4月1日からは、内閣府から認可を受け、「一般財団法人山縣記念財団」として、新たなスタートを切っております。現在、わが国の海事交通文化の発展に貢献するために、次の3つの事業を柱として、活動しております。

1. 学術研究誌『海事交通研究』（年報）及び海事交通文化の研究及び普及・発展に資する出版物の刊行と関係先への送付
2. 海事交通文化の研究及び普及・発展に貢献された方々への「山縣勝見賞」（著作賞、論文賞、功労賞）の授与
3. 海事交通文化の研究及び普及・発展に貢献する事業への助成・協力

つきましては、これら3つの事業について、2014年度分を公募することになりましたので、次ページ以降をご参照の上、応募をお待ちしております。

いずれにつきましても、申請書などの送付先、問合せ先は下記の通りです。  
（申請書のエクセル／ワード・データが必要な方は、メールにてご連絡下さい。）

### 【申請書などの送付先、問合せ先】

一般財団法人 山縣記念財団

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-10-3 正和ビル5F

TEL：03-3552-6310 FAX：03-3552-6311

E-mail: zaidan@yamagata.email.ne.jp

ホームページ：http://www.ymf.or.jp

### ※当財団移転のお知らせ

当財団は、12月9日（月）より、上記住所に移転します。

電話番号その他は現在と変わりません。

12月6日（金）までは、以下の住所にご連絡下さい。

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-1-9 京橋北見ビル西館5F

## 1. 『海事交通研究』（年報）第63集への掲載論文募集のご案内

当財団は、学術研究誌『海事交通研究』（年報）を1965年（昭和40年）11月に創刊し、海運とその周辺分野に関する最新の研究成果を発表して参りました。

2014年11月発行予定の第63集につきましても、以下要領にて掲載論文の募集を致しますので、奮ってご応募下さいますようご案内申し上げます。

尚、本件に関する最新情報については、当財団ホームページでご確認下さい。

・・・・・・・・・・募集要領・・・・・・・・・・

1. 募集対象分野 : 海運、物流、港湾、海上保険及びその周辺分野をテーマとする論文
2. 応募原稿 : 未発表のもので、原則日本語としますが、相談に応じます。共著も可
3. 執筆原稿枚数 : A4版縦置き横書き（40字×40行）で10枚（厳守）を限度とします。（目次・図表・注等を含みます。）
4. 原稿提出方法 : メールに原稿を添付して送るか、メディア媒体をお送り下さい。
5. 応募・審査手順：
  - (1) 論文執筆の申請をされる方は「年報掲載論文執筆申請書」（以下「申請書」という）を2014年2月3日（月）～3月31日（月）（当日の消印有効）の間に、メール・郵便又はFAXによりお送り下さい。（本誌巻末の「申請書」書式を切取線から切り取り、ご使用下さい。）
  - (2) 当財団の「年報掲載作品編集委員会」（以下「編集委員会」という）が提出された申請書を審査し、年報掲載論文の執筆をお願いするかどうかを4月末までにご連絡致します。
  - (3) 論文提出期限は2014年8月29日（金）とします。
  - (4) 執筆頂いた論文の年報への掲載については、編集委員会の審議を経て最終決定致します。
6. 原稿料 : 年報に掲載された論文については、当財団所定の料率にて原稿料をお支払いします。
7. 年報掲載論文執筆申請書／論文の提出先・問合せ先：本誌p.117をご覧ください。

以 上

## 2. 「2014年山縣勝見賞」 募集のご案内

当財団は、2008年（平成20年）に設立者の名前を冠した「山縣勝見賞」を創設し、国民生活に重要な役割を果たしている海運を中心とする海事交通文化の研究及び普及発展に貢献された方々を顕彰し、その研究成果を対象として表彰する制度を発足しましたが、この度も「2014年山縣勝見賞」への応募を以下の通り受け付けます。

尚、本件に関する最新情報については、当財団ホームページでご確認下さい。

又、前回の「2013年山縣勝見賞」につきましては、本誌p.121に掲載しておりますので、ご覧下さい。

・・・・・・・・募集要領・・・・・・・・

1. 募集対象分野 : 海運、物流、港湾、海上保険及びその周辺分野をテーマとする著作（共著も可）、論文並びに業績
2. 募集開始日 : 2014年1月7日（火）
3. 応募締切日 : 2014年3月31日（月）（当日の消印有効）
4. 賞の種類及び対象 : ① 著作賞 海事関係の単著又は共著で、2011年1月1日から（30万円） 2013年12月31日までの間に発表されたもの。  
② 論文賞 海事関係論文で、上記と同期間に発表されたもの。（20万円）  
③ 功労賞 海事交通文化の発展に顕著な業績のあった方。（20万円） 特にその業績の対象期間は問わない。

尚、既に他の学会又は団体などから受賞している場合でも受賞の資格を有するものとします。

5. 推薦・申請手続：原則として、海事関係の個人・団体の推薦又は自薦によるものとします。応募者は、当財団宛所定の推薦/申請書（本誌巻末の書式を切取線から切り取り、ご使用下さい。）に当該著書・論文コピーを1部添付の上提出して下さい。（著書は後日返却します。）  
推薦/申請書・著書/論文コピー郵送先は、本誌p.117をご覧下さい。
6. 受賞者の発表：受賞者の氏名等は、2014年6月上旬までに当財団のホームページ、その他海事関連のメディアを通じて発表します。  
尚、受賞者への贈呈式は7月21日の「海の日」の前後に行います。

以上

### 3. 2014年度支援・助成申込のご案内

当財団は、海事交通文化の研究及び普及発展に貢献する事業への支援・助成活動を行って参りましたが、2014年度につきましても以下の通り募集致しますので、ご応募下さい。尚、本件に関する最新情報については、当財団ホームページでご確認下さい。

・・・・・・・・募集要領・・・・・・・・

1. 募集対象分野 : 海事交通文化の調査研究、その他海事の発展に貢献し、または貢献しようとする事業への支援・助成
2. 募集開始日 : 2014年1月10日（金）
3. 第1回応募締切日 : 2014年2月28日（金）（当日の消印有効）  
尚、年度中の申込は随時受け付けますが、年度の予算額を超えた時は応募を締め切ります。
4. 申請条件 :
  - (1) 2014年4月から2015年3月までに実施する事業であること
  - (2) 収益を目的とする事業は対象とせず、海事交通文化の振興又は調査研究に関連する事業であること
  - (3) 既の実施している事業で、その実績が一定の評価を得ているもの、又はこれから実施しようとする事業の場合は、当該事業を実施するための実態的な人材・知見が整い、事業目的が明確に示されていること
  - (4) 本助成金を利用して活動した後、本助成金の使途に関する事後報告を速やかに行うこと
5. 申請手続 : 応募者は、当財団宛所定の申請書（本誌巻末の書式を切取線から切り取り、ご使用下さい。又はこれに代え、募金趣意書などを提出して下さい。）  
申請書提出先は、本誌p.117をご覧ください。
6. 審査結果の発表 : 第1回については、助成審査委員会（2014年3月上旬開催予定）により審査し、理事会（2014年3月下旬開催予定）に答申。結果は、4月上旬までに申請者宛連絡します。

以 上

## 「2013年山縣勝見賞」の結果報告

「2013年山縣勝見賞」の受賞者は次の通り決定し、2013年7月12日、海運クラブ（東京・平河町）にて贈呈式が行われました。受賞者、及び受賞内容につきましては以下の通りです。

尚、「2014年山縣勝見賞」の募集要領については本誌p.119に掲載しておりますので、奮ってご応募下さい。

### 記

#### ・ 著作賞

瀬野克久氏著『船舶融資取引の実務』

（日本海運集会所、2012年2月発行）

受賞者略歴：

1956年生まれ 慶應義塾大学法学部卒業

1984年弁護士登録

現在、一橋パートナーズ法律事務所代表弁護士、

早稲田大学海法研究所 招聘研究員、

一般社団法人日本海運集会所 海事仲裁委員会海事仲裁人

受賞理由：本書は船舶融資関連取引に従事するに当たり必要とされる金融、船舶登録制度、船舶保険、傭船契約、船舶売買、造船契約、船舶管理、担保法、倒産法、会社法、外国の法律等多岐に亘る知識、実務上の取扱について論述した優れた実務書であることが認められる。

#### ・ 論文賞

瀬田真氏執筆「民間海上警備会社（PMSC）に対する規制とその課題  
～海賊対策における銃器使用の検討を中心に～」

（山縣記念財団『海事交通研究』第61集（2012年11月発行）掲載）

受賞者略歴：

1983年生まれ

2008年London School of Economics and Political Science法学修士課程修了

2010年早稲田大学法学研究科修士課程修了

現在、早稲田大学比較法研究所助手

受賞理由：海賊に対して銃器の使用に規制がある現在の法制下で、民間海上警備会社（PMSC）などのあり方を法制面及び実務面から考察した論文で、現在海運会社のみならず社会的に非常に注目されている論題を扱った秀逸作と認められる。

・ 功労賞

山岸寛氏（東京海洋大学名誉教授）

受賞者略歴：

1941年生まれ 早稲田大学大学院商学研究科商学専攻博士課程単位取得満期退学  
東京商船大学商船学部教授、東京海洋大学海洋工学部教授、  
流通経済大学流通情報学部教授などを経て  
現在、東京海洋大学名誉教授

受賞理由：

長年に亘り我が国の海運を取り巻く学術研究に尽力され、教育・研究活動において多大な功績を挙げた。また、学会においては日本海運経済学会の副会長のほか複数学会の役員を務めた。そのほか、数多くの著書や論文を発表し、『海上コンテナ物流論』は日本海運経済学会賞を受賞した。



2013年山縣勝見賞贈呈式における記念撮影 2013年7月12日  
於海運クラブ

左から 瀬田真氏（論文賞）、山岸寛氏（功労賞）、  
瀬野克久氏（著作賞）

2014年 月 日

一般財団法人 山縣記念財団  
理事長 小林 一夫殿

## 年報掲載論文執筆申請書

下記の内容にて学術刊行誌『海事交通研究』（年報）2014年第63集に寄稿し  
たく、申請致します。

### 記

1. 執筆者氏名
2. 所属
3. 住所・電話/ FAX番号・E-mail

〒 -

TEL: ( ) - FAX: ( ) -

E-mail: @

4. 執筆希望論題
5. 執筆の趣旨・概要（300字～500字程度）

以上





# 山縣勝見賞推薦／申請書

(推薦／申請年月日) 2014年 月 日

一般財団法人 山縣記念財団  
理事長 小林 一夫殿

賞の種類		①著作賞 ②論文賞 ③功労賞 (該当分に○をつけて下さい。)	
推薦 ／ 申 請 内 容	著作(書籍) 又は論文名		
	掲載誌・号数 (論文の場合)		
	出版社		出版年月 年 月
	(フリガナ)		勤務先(役職)又は職業その他
	氏名 (著作・論文の場合、著者)		
	(フリガナ)		勤務先(役職)又は職業その他
	氏名 (著作で、共著者がいる場合)		
	(フリガナ)		勤務先(役職)又は職業その他
氏名 (著作で、共著者がいる場合)			
推薦/申請理由		(別紙又は裏面に記載してください。)	

- 添付物： 1. 推薦／申請著作(書籍)／論文写  
2. 推薦／申請理由書

(推薦／申請者)

氏名 (団体の場合は、団体名・役職・個人名)

住所 〒 -

電話番号 ( ) -

メールアドレス @

勤務先(役職)又は職業

(選考委員会使用欄)

キ  
リ  
ト  
リ



2014年 月 日

一般財団法人 山縣記念財団  
理事長 小林 一夫殿

(申請者住所・氏名(団体名・代表者名))

印

## 補助金助成申請書

下記の通り、海事交通文化の調査研究、その他海事の発展に貢献し、または  
貢献しようとする事業への支援・助成を申請致します。

### 記

1. 補助金助成を申請する事業名
2. 補助金の申請額 円
3. 事業の目的・申請理由(出来るだけ詳細に記述して下さい。)

4. 補助金の必要時期（当財団よりの振込希望時期）：             年             月

5. 本事業に係わる収支案

（収入として、他の収入及び本補助金申請額、支出として、具体的用途・金額を記入して下さい。）

収入予定			支出予定		
年月	内容	金額(万円)	年月	内容	金額(万円)
	本補助金				
合 計			合 計		

6. その他参考事項

（申請者事業概要についてホームページで公表している場合は、URLをご記入下さい。）

7. 本件担当者名・連絡先住所及び電話・E-mailなど

以上